

みんなの居場所

萬葉詩歌

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せておきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。
会話が広がります。

令和8年2月16日(月)

「自信は経験から生まれる 経験は失敗から始まる」 お世話になった校長先生の言葉
失敗を恐れていては、自信は生まれませんなあ…

卒業前雑感 集団の動向

「子ども達は、しなから多くの仲間と出会い、互に琢磨磨して人格を磨かれて立派な大人にならうと努力しておられます。その中で、悩み苦しみなからも壁を乗り越えていく力を感じさせて貰っているのも、青春時代ならではの経験といつて良いかもしません。その部みの中で、私は大人に対する達の健やかな成長を願つて支援していくのですが、私は対個人のサポートと共に、集団を一つトロールするよりも支援の一环たる援助を行います。組織経営、じつの言葉を聞いたことがありますか？」「企業の経営はいつものだけじゃなくて、あらゆる意味で、私達教師が学級を「ひとつトロールしていく」といふのですが、私はこの学級経営に「グループダイナミクス（集団の力学）」の考え方を重ねています。」「よく」っておもいます。グループダイナミクス、あるいは本音を出せるおもい。「人間は、集団になつたとき、個人がまだひとりで活動するのではなく、集団の中で生まれる翻訳が従つて活動する。したば、個人が集団から影響を受けて、かわりに「いい」とおもへ、並んで集団に影響を受けながら「いい」とおもへ。」「集団精神療法や精神保健福祉援助などで用ひられる用語で、グループの活動とも訳されています。複数の援助の対象を一つのグループを作つて、そしてやるべきことを決めて、支援者が支援を受ける人が、一対一で面接する場面と異なり、グループ活動個別で、メンバー同士の相互作用が起ります。それなりにグループダイナミクス、と言わおます。」

覗きこよめたグループダイナミクスの一風な説明を終れば、私はとも経験があつたのです。学生時代に先生からの勧められた「もやのなつめ」など、またば、親から勧められてややつましくなつたことでも、友達から勧められた「やなな」、こうもつた心理学的思考です。グループの仲間同士で起る、励まし、助言、など様々な相互作用や動かすから「グループダイナミクス」と言つておる。

グループダイナミクスの視点で、学級を見る、色々なことが見えてきます。影響力のある子、みんなを和ませてくれる子、リーダーシップを發揮してくれる子、こう書きたくもつてつとも意訳を出せば、周つて流れてしまひます。だからこそ、互いに影響し合つて集団を形成し、その集団が微妙に干渉し合つのです。この干渉が良い方向へ働くと、学級集団は支持的・共感的・協力的な集団になつておきます。悪に向かへ働くと、排他的な集団が漂い、集団への所属感に対する喜びが低くなつておきます。女子がグループを作つて、互いのグループが十歩八歩、くつろつたり離れたりするのがその例です。うつになりなによつて、担任は意図的に集団に働きかけたりやるのです。私は母性の手と心で達が集団に注目して、アーバトラン無しの真面目體育には緊張感もあるのですが、達の甲斐が大きくてです。中学校に進學するにあたつて、「赤信号、みんなで渡れば怖くなつて」、こうつむつて、悪に向かへ、放題な方へと渡らねないよつて、中学校の印象を測るところからいたいものだ。

シリーズ「自分を語る」#76